

後期西田哲学の実践論 第2 「創造的直観への実践」

=== 目次 ===

第4章 東洋道徳の根本・至誠	1
第1節 東洋道徳の根本は至誠	(1)
第2節 至誠の実践	(3)
第3節 私欲的でない	(3)
第4節 物となって見、物となつて行ふ	(4)
第5節 己を尽くすこと	(6)
第6節 絶対者の自己射影点となる	(7)
第7節 独断を捨てる	(9)
第8節 瞑想生活ではない	(11)
第9節 現実の地盤を足場にして	(13)
第5章 創造的直観への実践	17
第1節 行為的直観と創造的直観の関係	(17)
第2節 科学と宗教と哲学	(21)
第3節 専門家のエゴイズム	(23)
第4節 団体(種)の立場に執着する我執	(24)
第5節 従来宗教ではいけない	(27)
参考文献	—————	(28)

【凡例】

本書の西田幾多郎の引用は、西田幾多郎旧全集、岩波書店による。
巻と頁を【5:134】のように示す。